

# 東地区コミュニティだより

東地区コミュニティ推進協議会

■編集・発行/東地区青少協・東地区コミュニティ推進協議会 住所/十和田市大字三本木字里/沢1-240(東コミュニティセンター内) TEL 0176-24-9000 FAX 24-9003

東地区一本木沢町内会  
会長 太田 薫  
(東コミュニティセンター指定管理者)

東地区コミュニティの指定管理から1年を経過し、高齢化問題が重要な課題になりました。そこで、新しい取り組みとして、「防災親子キャンプ」の実施です。子ども達を中心とした防災手段ボールペンドづくり等、消防士を招いての指導も含めて親子キャンプです。今、プランニング中ですので、地域の方々の協力を得ながら進めています。



東地区コミュニティ推進協議会  
会長 太田 薫  
(東コミュニティセンター指定管理者)

## 元気な高齢者をめざしての取組み 指定管理から1年経過 更に前へ

### 仮称「〇〇憩いのサロン」づくり構想

次に、高齢化問題です。コミュニティだより前号にも構想を掲載しましたが、今後の重要課題であり、東地区においても二人暮らしや独り暮らしの増加に伴い、家にこもり人との会話も無く、孤独感に苛まれながら寂しい思いで過ごされている高齢者の元気づくりのため、何時でも、誰でもが集える憩いの場を作りたいと考えております。

10月14日(土)東コミュニティセンターの芝生広場にて、東地区コミュニティ推進協議会主催の「第4回いきいき健康グラウンドゴルフ大会」が開催されました。グラウンドゴルフ熟練者も初心者の方も参加され和気あいあいとプレーし交流を深めました。ご参加くださった皆様、運営にご協力くださいました皆様にここより感謝申しあげます。大会結果は次の通りです。入賞の皆様おめでとうございました!



第4回 いきいき健康グラウンドゴルフ大会  
東地区コミュニティ推進協議会  
事務局 北上真美

紙面の関係上、詳しく掲載できませんが、この様な「夢プラン」実現の為、地域の皆さんのかかわり方をお願いします。



女子の部		男子の部	
5位	松田 築場	1位	大村 喜代治
4位	京子	2位	佐々木 厚子
3位	菅原 うめ	2位	吉田 徹夫
2位	老久保 ウヘ	3位	川村 重一
1位	前田 幸三郎	4位	高屋 正廣
		5位	工藤 金佐
		6位	中村 孝
		7位	吉田 徹夫

昨年11月26日に十和田市地域交流センターとわふるで開催された十和田市SDGsフォーラムにおいて、一本木沢町内会で取り組んだSDGsにつながる取り組みの事例発表を行いました。SDGsと聞き、「環境保護やエコのこと」と思う方は少なくないと思います。私も初めはそう思っていました。SDGsは日本語で「持続可能な開発目標」という意味の英語の略称で、貧困・健康と衛生・エネルギー・環境・平和など17項目の開発目標が掲げられ、それぞれの目標には合計169個のターゲットが定められています。今回発表した事例は「生ごみ回収実証実験への協力」「他町内会と連携した自主防災組織の設立」「東地区シャトルバス開通に向けた取り組み」という3つの内容で、複数の町内会が力を合わせることで地域防災

東地区一本木沢町内会 理事 八幡直樹



東地区一本木沢町内会  
理事 八幡直樹

力の強化や高齢者等が安心して利用できる公共交通機関の整備に繋がったこと、町内会と行政が連携することで地域の課題解決を図ることができたことを紹介しました。町内会の活動がSDGsに繋がるのか疑問に思う方も居るかと思いますが、町内会の活動として一般的に掲げられている目的の中には、「交通安全、防犯、防火・防災、福祉、



とわふるにて事例発表する八幡理事



「十和田市SDGsパートナー」登録証  
十和田市 SDGsパートナー登録証の棚  
これまで登録された団体は企業2団体・町内会2町内会です

## 東地区コミュニティ推進協議会のロゴマークが出来ました!



- 空や水を象徴するマーク上部。青色は清潔さ、平和、誠実さ、または信頼性を表す色として解釈されます。空や水は、広がりや豊かさ、生命の源であることを表します。
- 中央には、手を取り合う人々のイメージが描かれています。これは協力、連帯、共同作業を象徴しています。人々が協力し合い、助け合い、連帯していることを示しています。
- そして、下部は大地や地球を表しています。これは安定性、土台、成長、安心感、または根源を象徴しています。大地は私たちの生活や文化の基盤であり、私たちの根源であることから、安定性や成長を象徴するシンボルとして表現しています。
- このロゴマーク全体は、空、水、地球の全体的な連帯感や結びつき、人々の協力と共同作業を強調しています。



津軽じょんがら節・千本桜 拓実 大柳  
私がふれあいの集いに出場してみて実感したことは、地域の方々はとても温かく、頑張つて挑戦している事を全力で応援してくれているのだと思いついた。実際に、糸が狂つたり切れてしまつた際には止めてしまつたし、最後まで弾き切ることもこのままじゃ、最後まで彈き切ることもできないし」と思い、「観客席から「がんばれ!」や「スタッフの方がムーラドをませてくれたおかげで、無事に演奏を終えました。その日は「私の師匠である祖父や親戚の方も来てくれたのだと考へます。今年の5月3日に津軽三味線世界大会へ出場するので一位を取つてきます。その後、日本一位になることができたら、アンド田市を世界中に三味線を叩きながらアピールしようと考えています。」

## 東地区コミュニティだより

今回のセンターまつりは、東地区コミュニティ推進協議会が十和田市東コミュニティセンターの指定管理を行うことになつて一回目のセンターまつりでありました。そしてコロナも5類感染症になりやつと通常開催に復帰できた年でもあります。

またセンターを利用していた「講師の会」が前年に解散してしまい、これまでの状況を把握している方、スタッフも少なく雲をつかむような状況で「兎にも角にも」発射したセンターまつりがありました。

しかしながら、当日は好天に恵まれ2時間で約1,300人、車約600台、フリー・マーケット17件、出店関係5件、展示関係17件、ステージ発表18件など盛大に開催できました、これもひとえにご協力をいただいた皆様のおかげと感謝いたしております。

まつり終了後の懇親会に於いても30名程の方々に出席いただき盛大に開催できました、誠にありがとうございました。

次回からは今回の経験を活かし、また主催は東地区コミュニティ推進協議会であることを自覚して地域の学校、施設、行政などコミュニケーションの活性化につなげるよう皆様と共に邁進していきたいと考えております。私たちの祭りをこれからもよろしくお願ひいたします。



東コミュニティセンター  
事務長 柴田 隆志